

## < 導入事例 ファシリテータ認定プロセス >

企業情報：製造業

案件：ファシリテータの内製化サポートおよびリーダーシップスタイルの標準化

対象：社内講師 5 名



### ■背景（課題／ニーズ）

若手と中途採用による人材が急激に増加する中、組織の継続的な発展にはリーダーシップパイプラインの強化が不可欠であると判断。社内の教育体系におけるリーダーシップ開発コースを増設。コースラインアップの中にかねてより導入していた IM®を引き続き採用する一方で、コースの実施回数が増えることを想定し、社内講師自らが IM®を実施できるようになるために FCP を実施。同時に、IM®コンセプトを社内（現時点では国内拠点のみ）に普及することにより、社内のリーダーと部下の間に統一したリーダーシップ言語と文化を醸成することを狙った。将来的には海外拠点への普及を検討中。

### ■取り組み概要（ソリューション）

5 名の社内講師を IM® 認定講師として育成する 3 日間の FCP を実施。認定を受けた社内講師が、新たにリーダーとなる社内の人材向けに、リーダーとして必要なコンピテンシーを開発する IM プログラム（5 種類）を毎年複数回実施する。認定の数ヵ月後に認定講師を集めて、MSC のマスタートレーナーのもとでフォローアップセッションを実施。日々のファシリテーションにおける課題を解消し、社内講師同士の認識合わせとともに知識共有を計った。

< FCP 認定の際に扱った 5 プログラム\* >

- 成果を生み出すリーダーのためのコミュニケーションスキル
- 最高のパフォーマンスを引き出すためのコーチング
- 目標設定と達成状況の振り返り
- 効果的なフィードバックと傾聴
- フロントラインリーダーのための戦略実行

\*FCP 実施時には IM から 5 プログラムを取り上げて実施します。認定後は IM すべてのプログラムが実施できる認定を取得できます。

## ■成果

- 社内講師が IM®を実施できることによる大幅なコスト削減を実現
- 社内文化を理解した講師によるファシリテーションのため、よりプログラムの効果が高まった
- IM の基本原則やインタアクション・ガイドラインがリーダーの中の共通言語として使用され始めている